

東日本大震災に関する本復旧工事について ～安全・安心・快適な高速道路機能の提供に向けて～

NEXCO 東日本は、3 月 11 日に発生した東日本大震災と、その後の強い余震により損傷した、当社が管理する高速道路のうち 20 路線・870km の区間について発災直後から仮復旧を実施し、翌 12 日には、被災地への物資輸送のための緊急車両の通行が可能となり、同 24 日には応急復旧を終え、ほぼ全線の一般車両の通行を確保することができました。

現在、当社では、東日本大震災からの復興事業として、震災前の安全・安心・快適な走行環境を確保するべく、本復旧工事に向けた準備をしており、その概要をお知らせします。

【本復旧工事のイメージ】

現在は、応急復旧段階のため、段差や路面の波打ちなどがある状況でご利用いただいておりますが、今後、関係機関とも調整の上、本復旧工事はできるだけ早期に着手し、短期間に、かつ集中して実施するべく準備を進めているところです。

また、工事計画の策定にあたっては、平年行ってきた冬季・行楽期への考慮に加え、東日本地域における復興事業の進展に伴い予想される交通量増とそれに伴う渋滞への対応などを勘案してまいります。

1. 事業費 ～ 約 490 億円を予定（災害復旧事業費：国庫補助）
2. 主な工事箇所 ～ 被害の大きかった岩手・宮城・福島・栃木・茨城県内の東北自動車道・常磐自動車道他
3. 主な工事内容 ～ 舗装打換えによる路面の平坦性確保、橋梁支承の補修、法面補修など
4. 期間 ～ 平成 23・24 年度の 2 カ年で実施

なお、本復旧工事に伴う交通規制などにつきましては、決定次第、改めてお知らせしますので、ご理解・ご協力のほどよろしく申し上げます。



【写真】 常磐道(水戸～那珂(上))の応急復旧状況 [左 3 月 11 日、右 3 月 17 日]